

経営比較分析表（令和2年度決算）

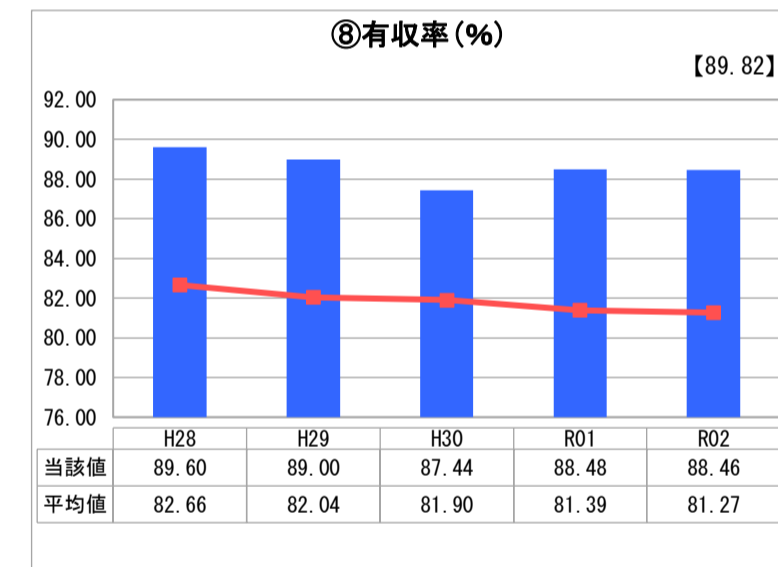
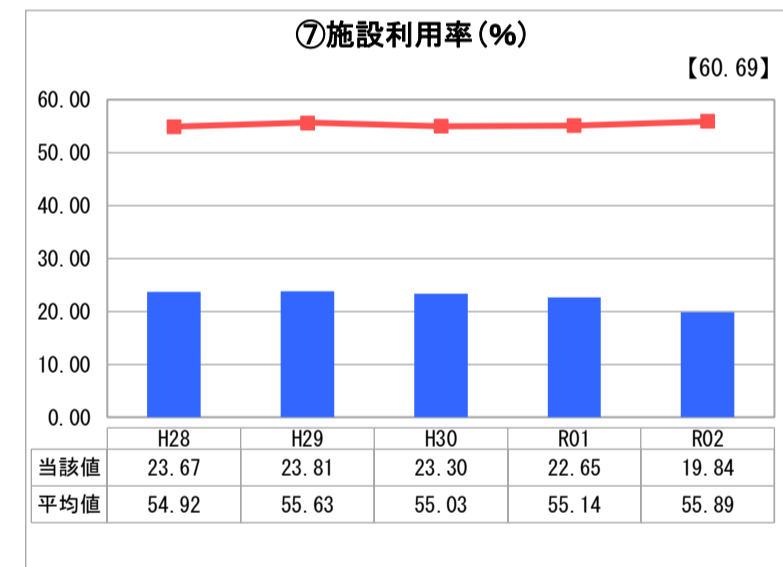
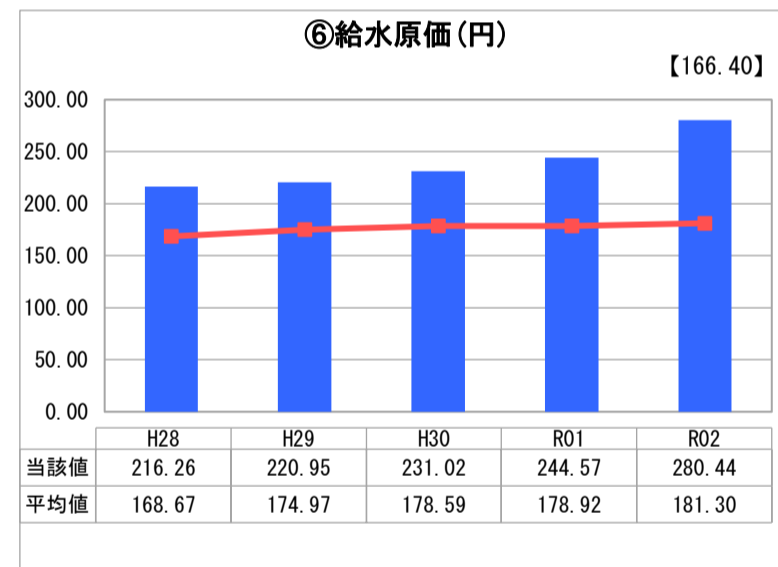
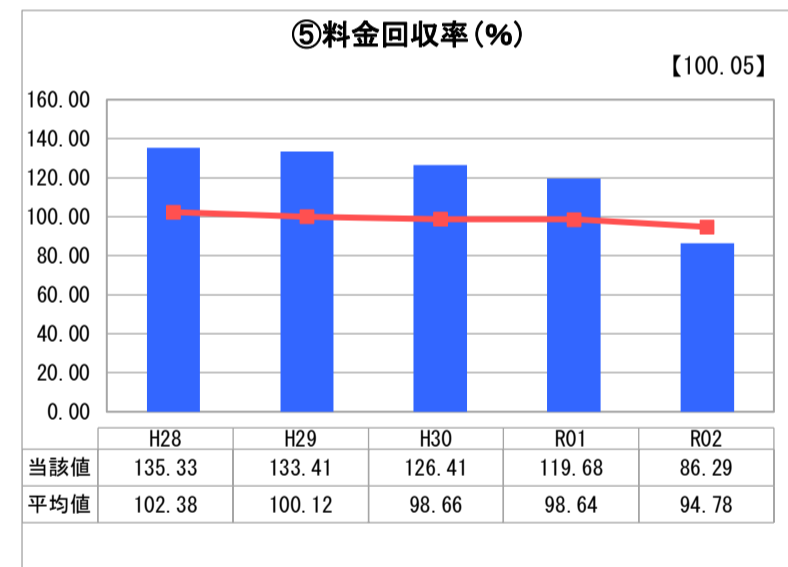
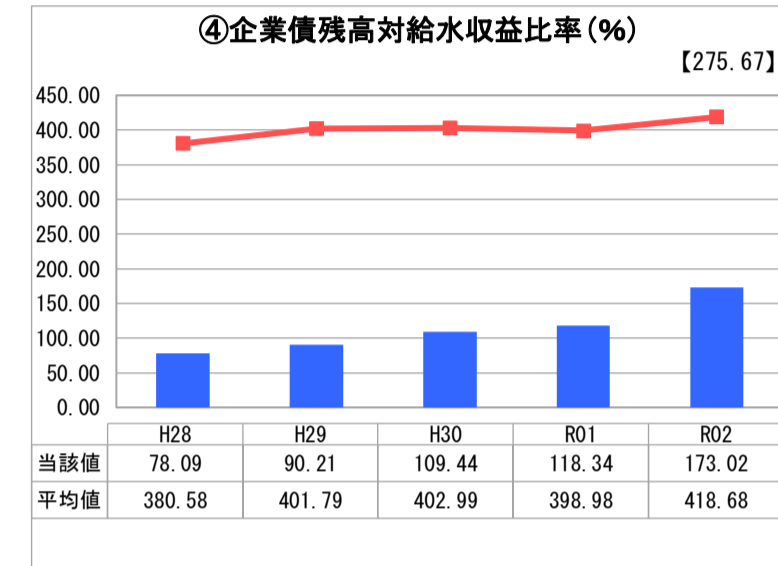
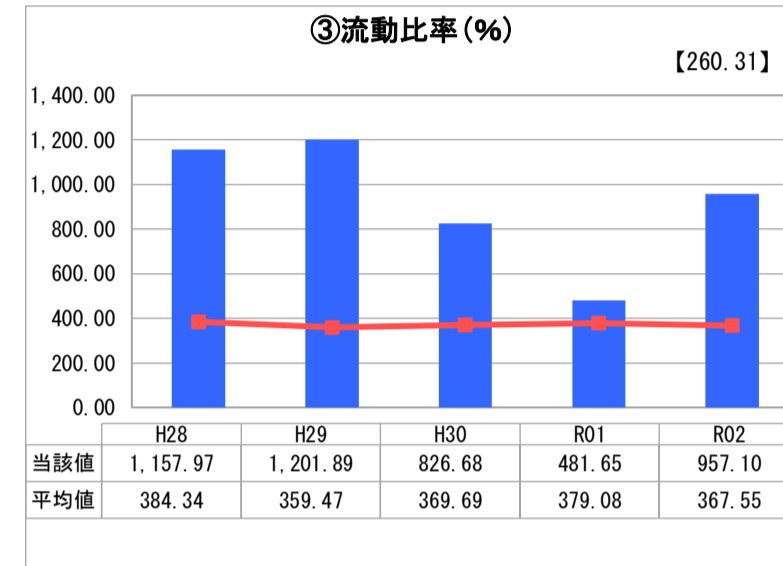
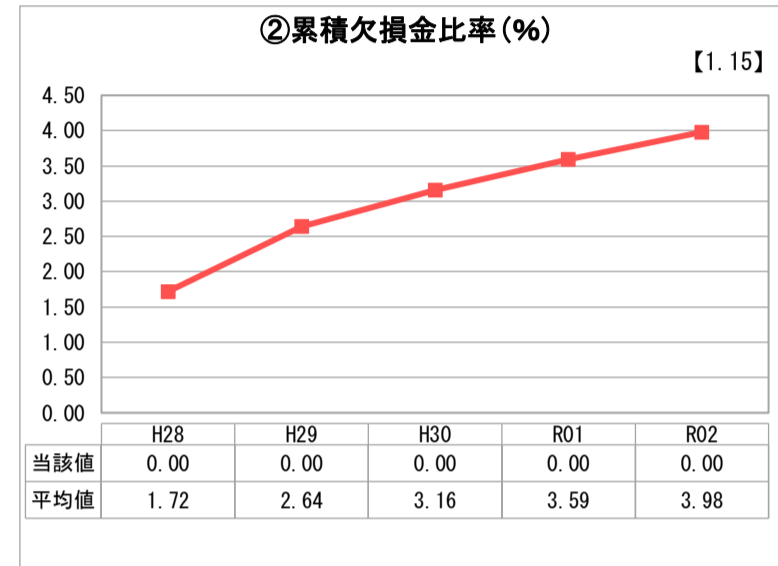
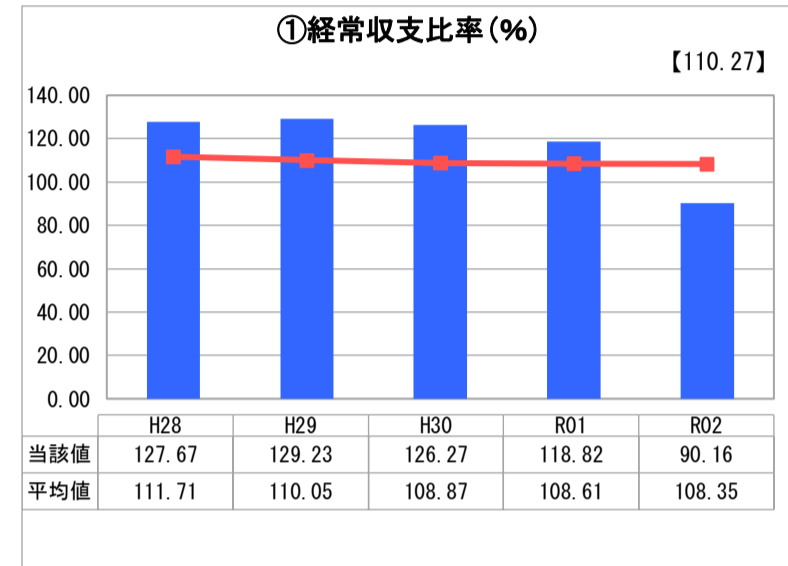
三重県 鳥羽市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	86.77	99.91	3,025	

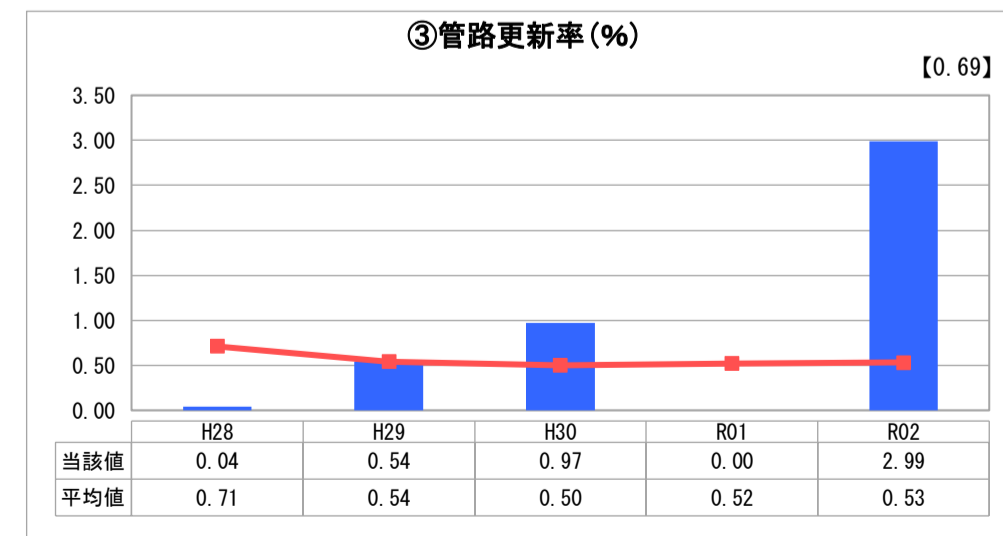
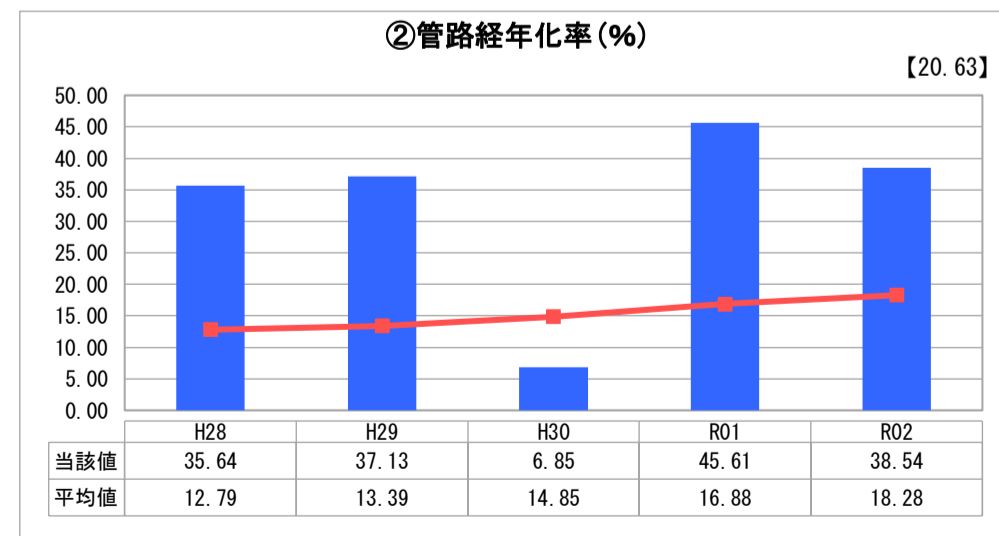
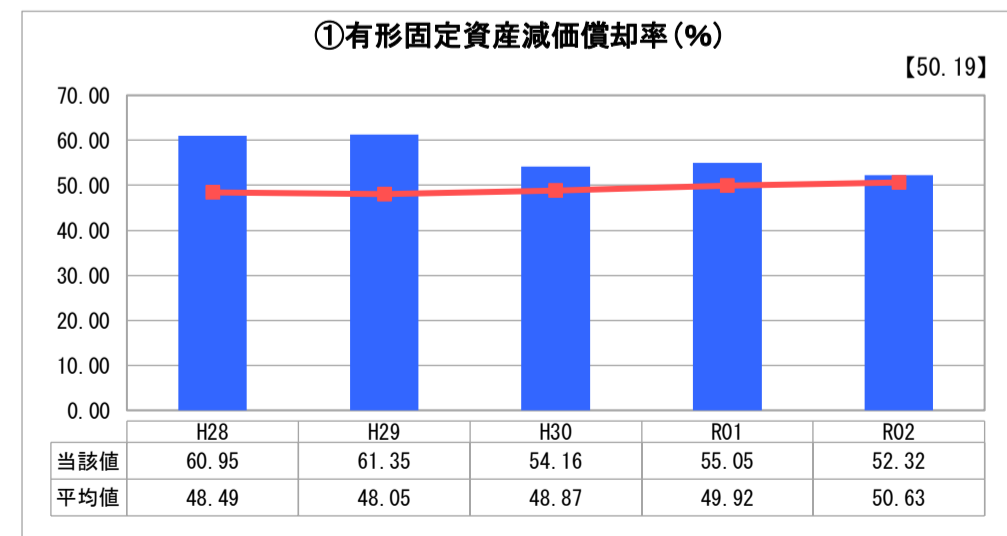
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,036	107.34	168.03
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,834	107.34	166.14

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率では令和2年度は100%を下回ったが、これは新型コロナウイルスの影響で約1億2千万円の減免を行ったことによる一時的なものであり、今後の経営に大きな問題はないといえる。流動比率は、前年度より増加しているが、これは分母となる流動負債のうち未払金が減少したことが要因であり、全国平均を上回っていることから、本市の資金繰りは良好である。料金回収率についても100%を切ったが、これも新型コロナウイルスの影響で、支払猶予を行ったことによる一時的なものであり、安定的な事業運営については問題なくできている。施設利用率は、全国平均と比べ低い数値となっているが、これは、人口減少及び観光客の減少によるものであることから更新時には今後の水需要を視野に入れてダウンサイジングなどの能力の最適化や施設の統廃合について検討する必要がある。有収率は、計画的に漏水調査を実施し、全国平均値を上回る水準を保っている。今後も貴重な水資源を有効に活用するため有収率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

令和2年度は海底送水管の布設工事や県道の配水管改良工事などにより、管路の更新率は増加した。しかし、本市の施設は昭和40年代から60年代に整備されたものが多く、施設の安定稼働を行うためにも日常的なメンテナンスが必要であるが、多額の費用を要することから計画的な更新や大規模修繕などの長寿命化をはかると同時に今後の水需要を見据えた適正な規模への見直しや統廃合を含む施設の再配置についても検討する必要がある。また、管路についても重要な管路を優先的に進めるとともに水需要に合わせた管路の大きさへの更新を行う必要がある。

全体総括

現在の経営状況は比較的良好であるといえるが、施設整備や維持などにかかる経費等は多く健全な事業経営のためには今後もさらなるコスト削減の努力を続ける必要がある。また、施設・管路は、老朽化が進み改良や耐震化などが課題であることから更新需要に対応するとともに災害等に強い水道を目指していく。